

川越志政会　桑（くめ）　真美子（まみこ）
公共サービスに民間の力を　19

問 **行政と民間との連携は不可欠だが、本市は前例踏襲で業務委託の域を出ていない。計画重視で出遅れや後追いが多く機会損失が生じているが、公民連携の在り方は。**

答 **栗原副市長**　今後、厳しい財政状況や人口減少に伴う担い手不足、公共施設の老朽化に対応しながら、質の高い行政サービスを安定的に提供し続けるには、公民連携の取り組みは必要と認識している。一方、責任所在の明確化や透明性の担保など留意する事項もあるため、行政が担うべき役割を整理した上で、さらなる民間事業者等との連携の取り組みを推進していきたい。

闘 公民連携のさらなる推進　闘 適正な選挙執行



川越志政会　倉嶋（くらしま）　真史（まさし）
単独で困難な課題は協力で　20

問 **公共交通を隣接自治体間で協力し、市域を越えて運行することにより、効率的な運用や利便性の向上が図られると考えるが、市の考えを伺う。**

答 **都市計画部長**　隣接自治体間での相互運行は、運賃設定や運行経費の負担割合等の課題があり、直ちに実施することは難しいものと考える。一方で、将来的に運転手等の担い手不足が一層深刻化し、郊外における高齢者等の移動手段の確保が困難となることが見込まれる場合などには、広域行政の考え方としての隣接自治体との相互運行についても選択肢の一つとして研究したいと考える。

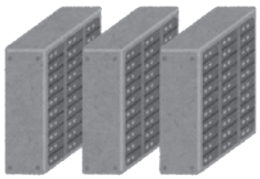
闘 自治体間連携



川越未来の会　加藤（かとう）　みなこ
中福地区の土地利用転換　21

問 **中福地区に立地予定のデータセンターについて、運営事業者等を把握しているか伺う。**

答 **産業観光部長**　現在、都市計画提案者であるデータセンター開発事業者と、土地利用転換や開発に向けた協議を重ねているが、運営事業者等については、データセンター開発事業者に確認したところ、現在は中福地区の土地利用転換に係る各種手続きと並行して、選定作業を進めている状況であり、現時点では公表できる段階にないとのことである。



闘 土地利用転換



川越未来の会　神田（かんだ）　賢志（さとし）
圏央鶴ヶ島ＩＣ周辺の発展　22

問 **都市計画道路、日高川越鶴ヶ島線の整備に関する考えを伺う。**

答 **都市計画部長**　当該道路の整備により、各市から圏央道や東武東上線鶴ヶ島駅へのアクセスが容易になるものと考える。

　現在、日高市および鶴ヶ島市の区間において、整備に向けた動きが見られることから、２市の整備状況などを注視しつつ、当該道路の整備効果や他の都市計画道路の整備状況などを鑑みながら、庁内の関係各課で協議していきたい。

闘 土地利用転換



無会派　川口（かわぐち）　啓介（けいすけ）
合理性を欠く校則の見直し　23

問 **適切な説明ができない、合理性を欠く校則が多数残るだけでなく、各市立中学校間で大きく異なる校則について、教育委員会はどのように関わっていくのか。**

答 **学校教育部長**　教育委員会として、各学校の校則の内容や見直しの状況を把握することは重要であると考える。今後、各学校に調査等を行い、校則の内容や見直しの状況等を確認するとともに、文部科学省が示している校則に係る指針の内容等を踏まえ、見直しに当たり大切にすべき視点やプロセスを各学校と共有していく。また、各学校において校則の見直しを行う際は、必要に応じて助言や支援を行っていく。

闘 校則の見直し



日本共産党　川口（かわぐち）　知子（ともこ）
青少年団体の利用料軽減を　24

問 **学校の体育館は、社会教育・体育の場、災害時の避難所として、本来無料で利用できるようにすべきと思うが、空調利用の負担軽減に対する市長の考えを伺う。**

答 **市長**　市立小中学校における学校体育施設の開放は、スポーツやレクリエーション活動の場として重要な役割を果たしており、スポーツ団体によっては、青少年の健全育成など、教育的な観点からも有意義な活動を行っている団体があることを認識している。

　スポーツに親しむ機会を充実させ、スポーツによるこどもたちの健やかな体や豊かな心身の育成をする観点から、負担軽減策について検討したい。

闘 豪雨災害から命を守る　闘 体育館の空調使用料軽減